

自然災害分科会 2010年度 第3回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：2010年06月11日(金) 15:00 ~ 18:00
- (2) 場所 所在地：日本橋
会場名：BCAO 日本橋事務所
- (3) 今回の議長役：宮村
- (4) 議事録作成者：大貫
- (5) 今回の幹事：宮村
- (6) 出席者：宮村、杉本、鱒沢、菰池、坂本、市川、大貫
- (7) 主要な決定事項
 - ①各自目次案を吟味して欲しい。
→大貫がデータで配布するのでそれに修正を加えてもらう。
- (8) 次回開催予定
 - ① 開催日時：(別途連絡)
 - ② 場所 所在地：日本橋 会場名：BCAO 日本橋事務所
- (9) 配布資料
 - ①大地震の時の心得 (杉本氏)
 - ②第三フェーズテーマのスケジュールと体制と最終アウトプットについて (案) (大貫)
 - ③小冊子サンプル (大貫)
 - ④余震に関する情報のあり方について (気象庁) (大貫)
 - ⑤復旧戦略が主の企業・復旧を主務とする企業における事業継続上の主な阻害要因と対策 (大貫)
 - ⑥余震に関する関心について-内閣府地震に関する世論調査 (大貫)
 - ⑦弁護士に宛てた質問状 (大貫)
 - ⑧余震の心的影響 (インターネットで調査した内容) (大貫)
 - ⑨日本で発生した地震 (25ヶ月分の地震の発生タイミング) (大貫)
 - ⑩第2回会合議事録 (大貫)

2. 議事内容

(1) 文系チームの進捗報告

- ①文系チームで一回会合を開き、今後の進め方について打ち合わせた。
- ②弁護士を藤井氏が手配して質問状 (上記配布資料の⑦) を送った。
- ③弁護士が回答してくれる (時期は藤井氏に一任)

④質問状に対するコメント

この質問では参集命令を出しているが、社員が自発的に出社して怪我した場合は法律的な問題に発展しないのか

→自発的に参集する前提は、そういうルールを事前に決めているからであり、その出社ルール

と参集を呼び掛けた指示内容は同じであるため扱いは一緒である。

(2) スケジュール、体制、小冊子の目次案の説明

①スケジュールについて

特に意見なし。

理系チームも早く会合を開きたいので調整をお願いしたいと意見あり。

②体制について

市川氏と坂本氏の参加について

→本人が「参加するか否か検討させて欲しい」とのこと。

③目次案について

- ・余震の被害事例を加えたらどうか（新潟中越地震、駿河湾地震など）
- ・提言の優先する業務に「建物の建物の応急度判定」の内容を加えたらどうか
- ・各自目次案検討をしてする。

(3) その他自由な意見

①地震 BCP を考え直す場があっても良い

→今回の小冊子の提言に新たな視点を加えるつもりなので、そこで検討してはどうか。

もし大がかりになるようであれば、次フェーズではどうか。

②余震の位置付けを明確にする必要がある。

③何故、今まで余震は注目されないのだろうか。

- ・本震で被害がなかったら余震では新たに被害は出ない。
本震の対策さえやっていたら改めて余震の対策は不要ではないか。
- ・余震により大きな被害が少ないから。
- ・防災は本震対策が中心。事業継続は本震以降の対策。事業継続は本震以降の余震に対して注目する必要があるのではないか。

以上